



1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	西谷浄水場 再整備事業(排水処理施設)に係る整備工事(排水機棟)	階数	地上4F		
建設地	横浜市保土ヶ谷区仏向西4番1号	構造	S造		
用途地域	準工業地域、第1種中高層住居地域、準防火地域	平均居住人員	10人		
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2023年01月16日		
敷地面積	2,050 m ²	作成者	土屋 昌信		
建築面積	1,436 m ²	確認日	2023年01月20日		
延床面積	3,742 m ²	確認者	渡辺 俊一		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.6

音環境 2.6 温熱環境 2.4 光・視環境 2.6 空気質環境 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性 2.7 耐用性 3.2 対応性 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

生物環境 1.0 まちなみ 2.0 地域性 2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0

建物外皮の N.A. 自然エネ N.A. 設備システ N.A. 効率的 N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源 3.4 非再生材料の 2.6 汚染物質 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化 N.A. 地域環境 2.8 周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	総合	その他 特になし。
省エネ計算対象外		
Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	Q3 室外環境(敷地内) 外壁色は色調をおさせたグレー色とし周辺環境との調和を図る。 場内に防犯カメラを設置している。
LR1 エネルギー 評価対象外	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

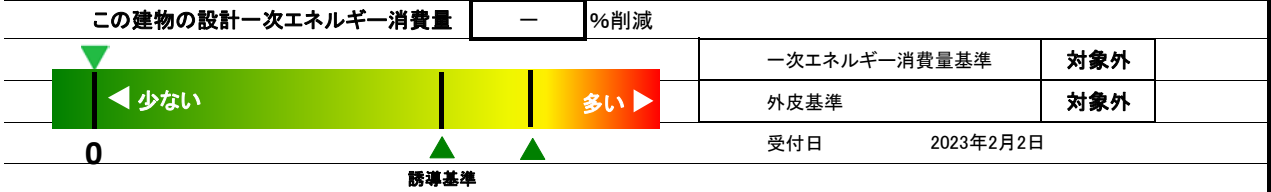


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **西谷浄水場 再整備事業(排水処理施設)に係る整備工事(脱水機棟)**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】** **1**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】** **2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

Ⅲ-2)舗装面積率29.95%のため1ポイント。高温排熱の放出部を設置しない(2ポイント)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】** **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】** **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑲外壁色は色調をおさせたグレー色とし周辺環境との調和を図る。

⑳場内に防犯カメラを設置。

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2022年版v.1.1

西谷浄水場 再整備事業(排水処理施設)に係る整備工事(脱水機棟)

バージョン

CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.3
Q1 室内環境										2.6
1 音環境				2.6	0.15	-	-	-	-	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2 温熱環境				2.4	0.35	-	-	-	-	2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	-	-	-	-	-	-	-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	-	-	-
3 光・視環境				2.6	0.25	-	-	-	-	2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	-	-	-	-	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-	-	-
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	-	-	-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 空気環境				3.1	0.25	-	-	-	-	3.1
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	1.00	-	-	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	1.0	1.00	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	-	-	2.9
1 機能性				2.7	0.40	-	-	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.33	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.33	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.33	-	-	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-	-	-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	-	-	3.2
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-	-	-	-
1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	4.0	0.80	-	-	-	-	-
2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 対応性・更新性				2.7	0.30	-	-	-	-	2.7
3.1 空間のゆとり				2.2	0.30	-	-	-	-	-
1 階高のゆとり				1.0	0.60	-	-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

西谷浄水場 再整備事業(排水処理施設)に係る整備工事(脱水機棟)

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-			1.7	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	10生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	19まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-			2.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	20地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	14敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			2.9	
LR1 エネルギー				-	-	-	-			-	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	1建物の熱負荷抑制	-	-	-	-			-
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	2自然エネルギー利用	-	-	-	-			-
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	-	-	-	-			-
4	効率的運用				-	-	-	-			-
	集合住宅以外の評価				-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-			-
	集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.50	-	-			2.9	
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1	節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-			2.6
2.1	材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1	消火剤				-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-			-
3	冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.50	-	-			2.9	
1	地球温暖化への配慮				-	-	-	-			-
2	地域環境への配慮				2.8	0.50	-	-			2.8
2.1	大気汚染防止				5.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2	污水处理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮				3.0	0.50	-	-			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1	騒音				3.0	1.00	-	-			-
2	振動				-	-	-	-			-
3	悪臭				-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2	砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-			-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目											
<事務用途>											
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	13知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-			-	
<住宅用途>											
健康と安心											
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	6健康対策	-	-	-	-			-
2	適切な換気計画		健康・安心	6健康対策	-	-	-	-			-
3	結露・カビ対策		健康・安心	6健康対策	-	-	-	-			-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	7防犯対策	-	-	-	-			-